

## ボーイング737-8型機の運航開始日を決定



新機材ボーイング737-8型機

スカイマーク株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長執行役員:本橋<sup>もとはし</sup> <sup>まなぶ</sup>学)は、2026年5月28日(木)より新機材ボーイング737-8型機(機体記号:JA738A)の運航を開始します。初便はSKY003便<sup>\*</sup>、羽田発福岡行(出発時刻07:35)を予定しております。

ボーイング737-8型機は当面の間、羽田＝福岡線にて運航し、順次、他の路線でも使用する予定です。運航機材<sup>\*</sup>については、ご予約画面にて本日よりご確認いただけます。

<sup>\*</sup>状況により急遽、機材変更となる可能性があります。

### 選択便情報

搭乗日	出発地	到着地
2026年5月28日(木)	羽田	福岡

[< 前日](#)
[翌日 >](#)
[⇒ 逆区間](#)
[≧ 日付・航路を変更](#)

便名	普通運賃	たすぽ	いまぽ	BonvoYoung 1J25割	障がい者割引運賃	小児運賃
羽田 06:20 → 福岡 08:15 SKY001	39,860	12,460	9,460	8,760	17,860	19,370
羽田 07:35 → 福岡 09:30 SKY007	39,860	12,460	11,460	5度 8,760	17,860	19,370
羽田 09:35 → 福岡 11:30 SKY007	39,860	12,460	11,460	5度 8,760	17,860	19,370

ご予約画面イメージ(赤枠内:ボーイング737-8型機は738と表示)

また、ボーイング737-8型機に導入予定の機内Wi-Fiサービスは、サービス開始に向けて準備を進めており、当面の間は当該サービスの提供はございませんのでご了承ください。サービスの詳細や提供時期は決まり次第あらためて発表いたします。

以上

<ご参考>

ボーイング737-8型機、737-10型機について

スカイマークが発注している737-8型機は、現行機の737-800型機と比較して、座席あたりの燃料消費量および二酸化炭素排出量を約15%軽減できることが見込まれます。また、737-10型機は、737-8型機と比べ胴体が長く、座席数が増加することから、737-800型機との比較で座席あたりの燃料消費量および二酸化炭素排出量が約19%軽減できることが見込まれます。

<ボーイング737-800型機(現行機)と新型機ボーイング737-8型機、ボーイング737-10型機について>

	ボーイング737-800型機	ボーイング737-8型機	ボーイング737-10型機
全長	39.5m	39.5m	43.8m
全高	12.5m	12.3m	
全幅	34.3m	35.9m	
航続距離	5,440km	6,480km	5,740km
搭載エンジン	CFM56-7B	CFM LEAP-1B Engines	
座席数	177席	177席	207席
燃料消費量 (現行機と比較)	—	約15%削減 <sup>※1</sup>	約19%削減 <sup>※1</sup>
受領時期	—	2026年4月～	2027年度

※1: 1座席あたり燃料消費量。消費量は固定とし、座席増加による1席あたりの燃料消費量削減度を算出